

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	いわき地域
②都道府県名	福島県
③計画作成主体	いわき市
④計画期間	平成18年度～22年度
⑤計画の目標	『誰もが安心・快適に暮らせる住まいづくり』、『安全・快適な定住環境づくり』、『活力ある良質な住宅市場の形成』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	いわき市土木部住宅課における調査及び集計により確定（平成23年9月）
⑦事後評価の結果	<p>指標1：「公営住宅の下水道接続戸数の割合」 定義：公営住宅戸数における下水道接続戸数の割合 評価方法：従前値に「いわき市公営住宅ストック総合改善事業」の実績を加算し算出 結果：従前値：72.5%（H17年度）⇒目標値：84%（H22年度）⇒実績値：89.0% 結果の分析：公営住宅の下水道接続については、入居者の居住環境の向上を図るため、下水道共用開始区域になり次第、速やかに接続工事を実施したことから、平成22年度末段階で、対象戸数：4,263戸に対し、接続戸数：3,795戸、接続率：89.0%となり、結果として目標値を上回ることとなった。</p> <p>指標2：「民間住宅のリフォーム支援の件数」 定義：各種リフォーム工事を支援することにより、民間住宅ストックの改善の件数 評価方法：従前値に「いわき市個人住宅改良支援事業」の実績を加算し算出 結果：従前値：1,152件（H17年度）⇒目標値：2,830件（H22年度）⇒実績値：2,238件 結果の分析：民間住宅のリフォーム支援については、提案事業である「民間住宅リフォームの助成」事業を活用し、結果、平成22年度末段階で、1,086件の支援を行ったが、目標値（2,830件）を下回った。これは、昨今の厳しい経済・財政状況により予算の確保が困難になったことが、主要因であるが、市民の良好な住宅ストックの形成促進やリフォームに対する意識啓発など、所期の目的は十分達成できたものと思われる。</p>
⑧結果の公表方法	いわき市のホームページにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の維持管理については、平成15年3月に策定した「いわき市公営住宅等ストック総合活用計画」に基づき推進してきたところであるが、今後、平成22年3月に策定した「いわき市公営住宅等長寿命化計画」との統合を視野に入れながら、当該計画を改訂することとしており、引き続き、市営住宅の居住環境の向上等を積極的に図っていく。 ・民間住宅のリフォーム支援については、平成23年度から始まる地域住宅計画（第2期）においても目標値を設定して強力に進めることとし、特に「バリアフリー化」、「省エネルギー化」、「耐震化」の推進に積極的に取り組む。
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。